

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.255

今月の特集

①教材活用シリーズ

もう所見・面談資料の作成で悩まない 生成AIを活用した校務サポート

（P. 6～7）

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2026.7.25 Vol.255 (total 1884号)
1956年1月5日創刊 毎月25日発行

間違いから始まる本当の学び

第38期学校教材調査会算数科委員
武蔵野市立第二小学校校長
全国連合小学校長会会長

松原 修

小学生の頃の私は、「何としても百点を取らなければならぬ」というプレッシャーを常にかけていました。一問でも間違えると母の厳しいチェックがあり、見たいテレビもお預けになってやり直しをさせられたからです。しかし今、改めて当時を振り返ると、本当に価値があったのは百点という結果ではなく、「間違えた問題と向き合い、やり直す過程」であつたと、母への感謝とともに深く実感しています。

令和となった現代でも、点数が高いほど良いという意識は根強く、それが子どもたちの自己肯定感に大きく影響することさえあります。その意識が強すぎるため、近年のテストなどの教材には、子どもたちが過度に苦手意識を持たないよう、取り組みやすい工夫が随所に見られます。私が長く委員を務めた学校教材調査会でも、「もう少し手応えのある問題」と提案すると、現場での使いやすさを考慮すると難易度の調整が非常に難しい、という各社担当者の切実な声を耳にすること

がしばしばありました。

これは、子どもたちの意欲を削ぎたくないという教員の配慮の裏返しでもあります。しかし、経験の浅い若手教員が増加している現在の学校において、授業の質を支え、高めていくために重要なのは、教材の質にほかなりません。適度な手応えのある優れた教材こそが、子どもたちの深い学びと、教員の良質な授業づくりを導く羅針盤となるのです。

現在、中央教育審議会では次期学習指導要領の改訂に向け、新しい「評価のあり方」の検討が進められています。従来の知識の確認にとどまらず、論述や記述の充実などを通して「思考・判断・表現」を多角的に見取ることのできる、質の高いテストや教材の充実が、これからの教育における喫緊の課題です。各社が培ってきた英知を結集し、子どもたちが間違えることを恐れず挑戦できる、次の時代にふさわしい教材が創出されることを心より期待しております。



日2025年度第2回理事会開催

新年度事業計画案、予算案を策定

一般社団法人日本図書教材協会（辻村哲夫会長）では、第2回定例理事会を6月30日に東京都・千代田区の「出版クラブ」とオンラインで開催し、新年度の事業計画・予算案を策定した。

新年度の事業計画については、冒頭に年度の基本方針を示すようにし、具体的事業として、教科書著作権協会とのルール改定の周知徹底、学校教材調査会の実施、教育DXに対応した学校教材に関する諸課題の検討、学校用教材の著作権に関する活動、学校用教材の採用促進のための活動、基本財産の運用、日本教材学会との連携のほか、図書教材新報のリニューアルや

次期学習指導要領に対応した編集者向け研修会の開催を新たに盛り込んでいる。

○出版社代表者会議も開催

理事会前に出版社代表者会議を開催し、代表者会議及び小・中学部会の在り方について検討し、小・中学部会を廃止し、出版社代表者会議のもとに必要に応じて小・中学分科会を開催する形に再編することとした。また、日図協・全図協の会費案・役員体制、学校教材調査会の実施、日本教材学会との連携、図書教材新報のリニューアル、受発注システムの改修について確認した。

* * *

6月15日

日業務委員会を開催

業務委員会（委員長・村上亮輔青葉出版發送センター長）では、第24回委員会を「協会会議室」で開いた。

はじめに、任期満了による委員長を選任したほか、2028年度以降の正副委員長出版社に

ついて検討した。

運送会社に関する諸課題や各種資料の対応についての情報交換を行った。また、昨年共有した荷札サンプルについて、各社の見直し状況を共有した。

6月16日

日業界ネットワーク委員会を開催

業界ネットワーク委員会（委員長・岸田賢一郎文溪堂情報システム部部長）では、「協会会議室」とオンラインで新学期後の会議を開いた。

今年度の「図書教材ネット」の稼働状況は、4月30日時点で利用販売店数549店（昨年同期間比21店増）、発注データ件数832、704件（同期間比51、729件増）と大幅に増加した。そのほか、来年度に向けたシステム改修等について意見交換した。



日本図書教材協会 理事会



業界ネットワーク委員会



業務委員会

全 2025年度第3回理事会を開催

2026年度事業計画・予算案を審議、各事業の推進状況を確認

一般社団法人全国図書教材協議会（細谷美明会長）では、6月30日に第3回理事会を東京都・千代田区「出版クラブ」とオンラインで開催した。また、理事会前には、幹事会、出版社代表者会議を開催し、理事会ではそれらをふまえ、主に次の審議を行った。

○2025年度事業中間報告

文科省との連携、教育委員会及び各都道府県小・中学校長会長あて文書の送付、学校での予算増額のお祝い文書及び物流対策文書のひな型送付、文科省「学校とのFAXでのやり取りの慣行の見直しについて」を受けた対応、教材士研修制度、全国協メルマガ、販売店向け

販売管理システムの運用、販売店向け各種制度（生命共済、総合補償、福利厚生）の運用状況、ネットオークション対策、教師向けセミナー助成金申請の認定などについて確認した。

また、幹事会からは全国協としての学校注文システムの開発方針について報告があり、現時点では開発を見送る方針を確認した。

○2025年度事業計画案並びに収支予算大綱の編成

事業計画案では、各種事業を進めていくために新たに基本方針を明記したほか、重点事業の取り組み方針として、教育DXに対応するために取り組みむべき課題の整理と対策、学校用教材の採用促進活動、日本教材学会との連携等を盛り込んでいく。収支予算大綱は、2025年度の予算執行状況を見ながら策定し、総会に提案することとした。

○2026年度通常総会スケジュール

2026年度の総会日程（9月28、29日）を確認し、2日目の協会長会議では講演会と分科会を開催することを確認した。



全国図書教材協議会 理事会

21世紀に求められる資質・能力の育成にー

認知能力検査

教
研
式

NINO

対象：小学校 2年／3年／4年／5年／6年 中学校 1年／2年／3年
定価：用紙 275 円／診断料 285 円

- ・各教科の学習を進める上で必要となる教科横断的な力(認知能力)を測ります。
- ・「活用力(思考力)」の育成に役立つ効果的な資料をご提供します。
- ・「学習に向かう力(メタ認知や協働性等)」についてのアンケートを用意しています。

学びたい先生を応援する教育誌

季刊 指導と評価

「指導と評価」は、日本教育評価研究会（会長 石田恒好）の機関誌です。昭和 30 年 4 月に創刊号発刊以来、長年にわたって、教育評価の専門誌として刊行されてきました。

「指導と評価」を講読ご希望の方は、日本教育評価研究会に入会の申込みをしてください。会員の方に「指導と評価」を年 4 回送付いたします。

B 5 判／年 4 回発行 年間会費 3,920 円（送料込）

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15

図書文化

TEL.03-3943-2511 FAX.03-3943-2519
https://www.toshobunka.co.jp/

6月22日、23日、29日

全ブロック小・中学部会長会議並びに

出版社営業部長との協議会を開催

理事会に先立ち、22日にブロック小学部会長会議、23日にブロック中学部会長会議、29日にブロック小・中学部会長会議並びに出版社営業部長との協議会を開催した。

それぞれ各ブロックからの新学期の情勢報告について意見交換を行い、小学校は、評価テストのCBT化の動向、キャッシュレス決済や集金代行システムの導入状況、ブロック小学部会並びに営業部長会からの要望事項等について協議した。

中学校では、「子どもたちのみらいの学びを

（小学校）



（中学校）

ブロック小・中学部会長と出版社営業部長との協議会

支えるプロジェクト」の企画、複写複製・公衆送信禁止の取り組みや転売対策、集金代行システムへの対応等について協議した。

6月30日

全幹事会を開催

理事会に先立ち開催した幹事会では、事前に開かれたブ

ロック小・中学部会長会議からの報告を受けて意見交換を行った。

また、学校から

の注文シス

テム開発に関

して学校から

の注文方法実

態調査の集計

結果や作業部

会での方針を確認し、理事会へ報告することとした。

そのほか、教材士研修制度・基礎コース講座

の運用、中東情勢緊迫化に備えた予算増額文

書、協会会長会議の企画等について協議した。

6月10日

全運営委員会を開催

全図協の副会長、常任理事の計8名（出版社4名、販売店4名）で構成する運営委員会では、



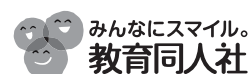
幹事会



全ての子どもに、もっと教育を

～公教育支援のパイオニアとして、社会の未来を創ります～

私たちがめざす理想は、全ての子どもにもっと質の高い教育を届けることです。
教育は子どもたちを成長させ、社会の未来を創ります。
教育によって日本の未来を幸せにしたい、世界の未来を幸せにしたい。
私たちは今後も同じ志をもつ人たちと集いながら、
『全ての子どもに、もっと教育を』の理念を追求し続けます。



「協会会議室」とオンラインで会議を開いた。

当日は理事会に向けた次年度の事業計画案や予算大綱の策定を行った。

そのほか次年度以降の事業や今後の理事会・総会日程等について確認した。



運営委員会

6月17日

小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会（幹事長・矢田恵理子日本標準取締役企画編集部マネージャー）では、第8回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請、教育行政の動向や教材の在り方、生成AIへの対応、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、日本教材学会との連携等について状況確認と検討を行った。

6月20日

学中国・四国・九州支部大会開催

日本教材学会の中国・四国・九州支部会（支部長・内垣戸貴之福山大学准教授）は、広島県福山市の「福山大学社会連携推進センター」で支部大会を開催。学会会員のほか、福山大学

の学生、教材出版社、販売店など約50名が参加した。

第一部では、東京大学・佐藤学名誉教授による講演「21世紀型の授業と学びにおける教材の機能」を実施。第二部では総会を開き、今年度の事業内容などを確認した。

6月26日

全国教育研究所連盟 総会を開催

研究発表大会はオンラインで開催

日図協が加盟している全国教育研究所連盟の令和8年度総会が、今年度も書面で開催され、令和7年度の事業・決算報告、令和8年度の事業計画・予算案、役員案等について承認された。

また、研究発表大会は、同月5日にオンラインで開かれ、東京科学大学・白井俊副学長による「世界の教育はどこへ向かうか」と題した講演のほか、加盟機関による研究発表が行われた。

7月14日

全都道府県協会総会における基礎資料を作成・配布

例年通り各都道府県協会総会で会員に説明してほしい内容を事務局でまとめ、各協会総会における基礎資料として協会長と出版社に配布した。

2026年度版基礎資料では、全図協の事業、教育行政の動向、最近の話題など、特に次期学習指導要領や教育DXに関する業界としての課題等について触れている。

がんげいテスト採用
無料特典

児童の成長を学習・生活の両面から伝えられる新しい帳票

AI PuYoLi

がんげい
きみの手に、みらいの夢を。

ダッシュボード

まなびレポート

負担ゼロで

通知表や面談資料として使える帳票を作成できる!

詳しくはこちら

3大特長

① 学習の様子

観点や領域ごとに結果を表示できる

② 児童の様子

児童のがんばりをスタンプで伝えられる

③ 児童の様子

スタンプを選ぶだけでAIが所見文例を自動生成

先生用AIで生成

いつも元気いっぱい、進んで挙手し、意見を述べる姿が印象的でした。

教材活用シリーズ 第190回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

もう所見・面談資料の作成で悩まない 生成AIを活用した校務サポート

青葉出版(株)
『AI校務サポート』



青葉出版(株)
編集部 ICT支援課

はじめに

近年、学校現場では働き方改革の推進とともに、校務の効率化がますます求められています。特に生成AIの進歩により、教育分野においてもさまざまな業務への活用が期待されるようになりました。一方で、通知表や指導要録の所見作成、個人面談や保護者面談のための資料作成などは、児童一人ひとりの状況をふまえて作成する必要があり、多くの時間と労力を要する業務となっています。

当社では昨年度より、生成AIを活用した校務支援サービス「AI所見文例」を提供して参りました。そして今年度は、所見作成機能をさ

らに進化させた「AI所見文例2.0」に加え、新たに「AI面談資料」を搭載し、「AI校務サポート」としてサービスを拡充いたしました。本サービスの利用により、所見文例の作成時間は72%、面談資料の作成時間は78%削減可能であり、先生方が児童と向き合う時間をより多く確保できるよう支援します。*1*2

1. 進化した「AI所見文例2.0」

「AI所見文例2.0」では、児童のようす、生活のようす、学習のようすなどを入力するだけで、クラス全員分の所見文例を一括で作成できます。入力内容は箇条書きでもよく、空欄が

あっても生成が可能のため、日常的なメモをそのまま活用することができま

す。総合所見に加え、「外国語活動」「道徳」「総合的な学習の時間」の所見文例作成にも対応しています。さらに、教科の単元名を入力することで、その単元の学習内容に対応した所見文例を生成できるため、より具体的に実態に即した文章の作成が可能です。

また、「AI所見文例2.0」では、各自治体や学校毎の表記ルールへの対応機能を新たに搭載しました。「子供⇄子ども」「友達⇄友だち」など、地域や学校によって異なる表記をあらかじめ設定することで、生成される文章に自動で反映されます。これにより、表記統一のための修正作業を大幅に削減できます。

生成した所見文例はExcelファイルへの出力や一括コピーにも対応しており、校務支援システムへの貼り付けも容易に行うことができます。



2. 新機能「AI面談資料」

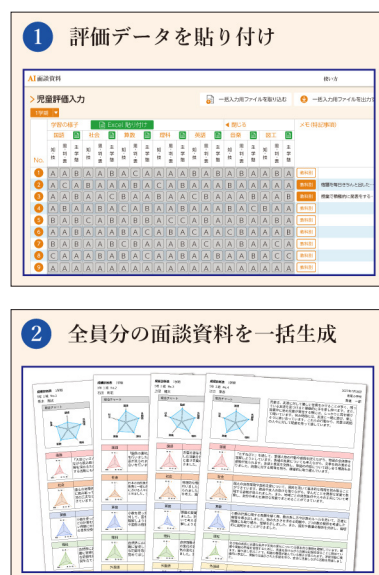
今年度では、新機能として「AI面談資料」を追加しました。

本サービスは、校務支援システムなどから出力した児童の評価データを貼り付けるだけで、個人面談や保護者面談で活用できる資料を自動生成します。各教科の評価結果や日常の記録をもとに、児童の学習状況や成長のようすを整理し、面談時に伝えるべき内容を分かりやすくまとめることができます。

生成内容は、「事実のみ」「事実＋励ましの言葉」「事実＋今後の学習計画案」の3つの形式から選択できます。面談の目的や時期に応じて使い分けことができ、長期休業前の面談では今後の学習計画を含めた資料を作成するなど、さまざまな場面で活用できます。

さらに、各教科・各観点の評価結果をもとに、特筆すべき点や今後の課題を自動で整理できるため、面談前の情報整理にかかる時間を大幅に削減できます。日頃の学習記録や特記事項も入力できるので、数値評価だけでは伝わりにくい児童の成長や努力の過程も資料に反映できます。面談の際には、保護者へ伝えるべきポイントを事前に整理できるため、限られた時間のなかでも充実した対話につなげることができます。

また、所見文例と同様に、箇条書きでの入力や空欄を含むデータにも対応しているため、特別な準備をすることなく利用できます。これまで時間のかかっていた面談資料作成を効率化し、より充実した面談の実現を支援します。



3. 登録不要で安心して利用できる

本サービスは、当社のテストをご採用いただいた先生方への教師用特典として、無料でご利用いただけます。IDやメールアドレスの登録、パスワード設定は不要で、ご採用いただいたテストが到着したその日から、当社デジタルコンテンツのポータルサイト「スマナビ」で利用できます。また、入力された情報はAIのモデル学習には使用されず、サーバーにも保持・保存されません。学校現場でも安心して活用できるよう配慮した設計となっています。

4. 所見の校正・修正もAIがサポート

「AI所見文例2.0」では、所見文例の生成だけでなく、作成済み文章の校正・修正にも対応しています。誤字・脱字の修正はもちろん、文章表現の改善や読みやすさの向上も行うこ

とができます。

また、通知表用の敬体（です・ます調）の文章を、指導要録用の常体（だ・である調）へ一括変換する機能も引き続き搭載しています。AIが文脈を理解した上で変換を行うため、より自然で正確な文体変更が可能です。

さらに、生成後の文例に対してチャット形式で修正指示を出すこともできるため、先生方の意図に合わせた文章へ柔軟に調整することができます。

おわりに

私たちは、先生方の校務負担を少しでも軽減し、児童と向き合う時間を増やしていただきたいという思いから、「AI校務サポート」を開発いたしました。

今年度版では、「AI所見文例2.0」の機能強化に加え、新たに「AI面談資料」を搭載しました。日々の校務を支援することで、先生方がより本質的な教育活動に集中できる環境作りに貢献して参ります。本サービスが先生方の校務改善の一助となれば幸いです。

※画面は開発中のものです。

*1 当社調べによる数値です。

*2 本サービスで提供するテキストの生成にはChat GPTを使用しており、生成した情報は必ずしも適切であるとは限りません。文例として参考にされる際は、内容の正確性や児童の実態に即しているかどうかを必ず確認し、適切な修正を行ってください。

【全】各ブロックで会議を開催

6月の全国協理事会等諸会議に向けて、各ブロックでは新学学期販売商戦の情報交換や諸課題について検討した。

◇近畿ブロック

5月30日に奈良市「奈良県コンベンションセンター」で開催。各協会役員など約25名、加盟出版社2社より3名、全国協事務局1名が出席。

小・中学部会に分かれて新学学期の情勢について報告。自治体採択デジタル教材の影響や、教師用書の公費化の取り組みなどを確認。

◇北信越ブロック

6月5日に南魚沼郡「湯沢東映ホテル」で開催。各協会役員12名、加盟出版社2社より2名が出席。

中学校営業部長会との意見交換会の企画について協議。ブロック役員の選出方法に関する規約の見直しについて協議し、継続して検討していくことを確認。

◇九州ブロック

6月5日に大分市「ホルトホール大分」で開催。各協会役員など20名、加盟出版社1社より1名、全国協事務局より1名が出席。各協会より新学学期の情勢を報告。今後予定されている研修会の企画・運営や沖縄県協会との意見交換会の活動について確認。

◇南関東ブロック

6月6日に千代田区「出版クラブ」で開催。各協会役員26名、加盟出版社2社より3名、全国協事務局より2名が出席。

全体会では各協会からの新学学期情勢報告のほか、教材採択に著しい影響が出ている地域の事例と対策について協議。小・中学別の分科会では諸課題について意見交換。秋に開催するブロックセミナーについて確認。

◇中国ブロック

6月6日、岡山市「岡山コンベンションセンター」で開催。ブロック小学部会研修会と、中学校営業部長会との意見交換会を並行して行い、各協会役員・会員、加盟出版社社員、全国協事務局等、約80名が出席。

小学校では、全国協・渡部竜士専務理事による発表「次期学習指導要領の動向と教材業界への影響・私たちの可能性」と、正進社・金井肇社長による講演「今後の販売店が生き残るための心構え」を実施。その後、①デジタル教材、②キャッシュレス、③教師用書の取り扱いをテーマに分科会で意見交換。

中学校では、第一部で新学学期の情勢分析と傾向について意見交換。第二部では「これから先の市場の安定と発展のために」をテーマに、事前アンケート(①10年後の業界、②少子化への向き合い方、③デジタル教材の活用)をもとに分科会を実施。

Ⅱ都道府県協会 会員だよりⅡ

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
へ代表者変更へ

東京都小学校：・(株)森教材(大田区)

新代表・石原章寛

愛知県：・(有)清水豊商会(春日井市)

新代表・清水義之

☆退会社☆

三重県：・ブックス芳文堂(伊賀市)

編集後記

定です。

では、新指において私たちの学校用教材はどう位置付けられるのでしょうか。昨年9月の「論点整理」には「教科書の重点化・内容の精選とともに、児童生徒の関心等に応じた多様な教材活用」と記され、教材活用はこれまで以上に重要となります。

また「デジタルカリアルカ等の二項対立に陥らず、一人一人の豊かな学びを充実させる視点が重要」とされ、さらに学校現場へ裁量を委ねる姿勢も方針として打ち出されています。教師の主體的な教材採択の尊重、紙とデジタル両方の重要性、多種多様な教材活用―いずれも新指の方向性であり、私たちが培ってきた強みです。これを生かし、新指を追い風にしていきたいと思います。

(竜)